

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①知識の本質的な概念や使い方の理解 ②相手を意識して言葉や表現を選ぶ力	③他者との交流の中で、自らの考えを表現したり、相手の考えの意図を理解したりする力 ④学習内容を活用して日常生活にある事象を説明する力	⑤忍耐強くコツコツと課題に取り組む続ける姿勢 ⑥積極的に他者と関わり自らの考えを深めようとする力 ⑦学習内容を日常生活の場面と結びつけようとする力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②、③	②作文をはじめとする「書く」課題において、常に伝える相手を想定して文章を書くように課題を設定する。 ③少人数班での話し合いを積極的に設定し、話し合いを通して課題を考えたり解決したりする場面を多く作る。	
社会	①、④	①定期的に小テスト・単元テストを実施し、既習事項について繰り返し学習する機会を設ける。 ④資料やグラフから読み取ったことと既習事項とを結びつけて、適切に説明したり表現したりできるようにする。	
数学	①、③	①知識の習得時に適用できる場面や活用方法を考える。 ③お互いの考えを伝えあったり、他者の視点や目的に沿って自分の考えを精査・工夫したりする活動を行う。	
理科	③、④	③実験、観察の際に、自分の考えを根拠を明らかにして表現し、伝え合う活動を行う。 ④学習内容に関連した日常場面を提示し、既習事項を活用して説明したり、課題解決したりする機会を設ける。	
外国語	②、④	②単元ごとに小テストを実施し、語彙力を高め、知識を定着させる取組を実施する。 ④既習表現を用いた英会話のアクティビティで表現の幅を広げ、英作文につなげ、パフォーマンステストで相手に伝わるか確認する。	
音楽	③、④	③音楽から知覚・感受したことや、そう感じた根拠について考えを伝え合う機会を積極的に設ける。 ④生活の中の音や音楽、音楽文化との関連に気づかせ、学習内容を活用して説明する場面を設ける。	
美術	③、⑤	③アイデアスケッチをしたり、鑑賞カードに自他の作品のよさを言葉で説明したりする取組を実施する。 ⑤目標や振り返りを記入する学習プリントを使用し、主体的に忍耐強く作品を制作する取組を実施する。	
技術	③、⑦	③授業支援アプリケーションやWebサービスを積極的に活用し、他者の考えを共有し、自分の考えと比較しながら思考を広げられるようにする。 ⑦授業のねらいに対する自分の考えをまとめたり、学んだことを振り返ったりすることで、学習内容の理解を深め、次の学びにつなげる。	
家庭	④、⑦	④材料の特徴を調べ、自分たちの課題に向かって計画を立て、実習に向かえるようにする。 ⑦達成のための手立てや進度表を作成して、主体的に作品を制作できる取組をする。	
保健体育	③、⑤	③提示された技能ポイントを参考にし、自己や仲間の動きを比較し、それを伝える活動を設定する。 ⑤技能ポイントと自己の動きを比べることを意識させ、解決方法を考え、それを次の授業で解決していく技能向上を目指す学びのサイクルを設定する。	

特別の教科 道徳	④、⑦	④⑦話合い（ペア、小グループ等）を毎授業設定する。 ④⑦本時のねらいを提示し、ねらいについて今までの自分を振り返り、今の自分の立ち位置から今後どうするかを考え、ワークシートに自分の言葉で表現させる。	
----------	-----	--	--

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

（２）教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○学校スローガン 「A・G・O（あ・げ・お）の心」	・「A・G・O（あ・げ・お）の心」（自ら挨拶・時間厳守・思いやり）を学校スローガンに設定し、一人一人の「理想とする学校生活」の実現を目指す。
○ラビ活 （各専門委員会の取組）	・基本的な生活習慣を正すことを目的とし、各専門委員会呼びかけのもと、生徒全員に学校生活のルールを徹底させ、よりよい学校を目指す。
○朝読書の実施	・毎日、朝の１０分間を活用し、１日の学校生活を落ち着いてスタートさせる。
○補習の実施	・定期テスト前と長期休業中に、国語・社会・数学・理科・英語の５教科を中心に補習を行い、基礎学力の定着を図る。
○教育相談期間の設定	・年２回の教育相談期間を設け、個々の支援に当たる。
○朝の挨拶運動と 下校指導	・全教職員と生徒会本部、生活委員会が連携して挨拶運動を行う。下校時には、ルール・マナーの改善や不審者との接触防止のために下校指導を行い、安心・安全な登校下校を目指す。
家庭教育との連携	
○家庭学習の支援	・各教科からの年間学習計画をまとめた「シラバス」を全家庭に配布して、学校と家庭の両面から家庭学習の支援を行う。
○朝の挨拶運動と 下校時の見守り活動	・保護者や地域の方々と共同して挨拶運動や下校時の見守りを行い、生徒の安全を確保する。 ・自治会やＰＴＡによるパトロールを定期的に行う。